

平成 29 年度

事業計画

社会福祉法人ほのぼの苑

平成 29 年度事業運営方針

昨年 4 月から、社会福祉法の一部を改正する法律の施行により、社会福祉法人制度の改革が進められ、経営組織のガバナンスの強化、事業運営の透明性の向上、財務規律の強化、地域における公益的な取組を実施する責務等への対応が求められています。

当苑も、本年 4 月からは、先の理事会で決議し福井県知事の認可を受けた新たな定款の施行により、評議員会の設置、理事・監事の役割の明確化、事業運営の透明性等を図ってまいります。

平成 27 年 4 月に特養の入所基準が原則要介護度 3 以上と改正されたこともあり、入所者様の重度化がみられる中で、必要な介護人材の確保を図るとともに、研修会への受講促進や内部研修の実施等により職員の育成を行い、介護力の向上を図ります。

当苑は平成 12 年 10 月に開設以来 16 年半となり、建物、設備機器、車両等の老朽化が進行してきましたが、適時、修繕・修理を行い対応するとともに、設備機器、車両等の中で特に損傷の著しいものや耐用年数の経過したものについては、随時、更新を図っていきます。

基本理念「みんなで笑顔のために」のもと、職員一人ひとりの自立した役割分担の遂行と、目的を一つにした職員の協働による組織力により、施設のご利用者、ご家族、地域の皆様に愛され信頼される施設づくりを目指してまいります。

平成 29 年度 各グループの目標

| グループ名 | 目 標 | 取組む内容やキーワード |
|---------------|----------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 介護G | チームワークを高めよう | フロア・他職種との情報共有 各フロア間の報告・連絡・相談をしっかりとっていく |
| すずらんF | 想いをかたちに笑顔あふれる 楽しみの提供 | ・お互いを尊重し合い行動する ・1つの気づきからご利用者の可能性を引き出していく |
| ひまわりF | コミュニケーション能力の向上 | ・挨拶や笑顔、気持ちのいい対応 ・相手の感情を理解する ・協調性、チームワーク力、自己主張力・知識・技術を伝えるスキル |
| すいせんF | おもてなしの心で信頼関係を築こ う | ・利用者の方と向き合う姿勢、目線は正しいか ・寄り添い、支えあい、安らぎ、楽しみ、慈しみから悲しみ まで、その全てをフロアで分かち合う。 ・介護の始まりは信頼関係から |
| 居宅支援G | 次に活かせるモニタリング力を つける | ・評価項目を具体的に掲げる ・各サービス事業所の報告や報告書を活かす ・居宅介護支援についての評価も行う |
| 通所 G | 利用者の笑顔がたくさん見たい | ・状態把握に努め、満足度につなげる ・利用継続が図れるよう安定した状態の維持に努める ・ご家族、居宅事業所との連携を蜜にする |
| 看護G | 他職種との連携をとり質の向上 に努めます | ・家族及び介護職、相談員、栄養士、協力医との連携を 図り安心安楽な日常生活を維持していく ・喀痰吸引等の認定介護職員対象にしたフォローアップ 及びマニュアルの整備 ・利用者の状況に沿った介護サービスが提供できるよう 研鑽に努める |
| 企画相談G | ご利用者・ご家族のニーズに対 応する 地域に貢献する | ・多職種連携し、質の高いサービスを提供できるよう援助 の要となる ・地域の在宅介護を支援するためショートステイの充実を 図る ・介護者の方の負担が少しでも軽減できるよう「介護者の つどい」を開催する |
| 管理栄養 G 調理G | 安心安全な食事の提供 喜ばれる食事の提供 | ・調理作業、衛生管理についての研修 ・選択メニュー、行事食、バイキングの実施 ・嗜好調査の実施 |
| 事務G | 介護環境の改善 | ・法改正に対応した制度の適正な実施 ・施設設備の補修整備 |

各 委 員 会 の 取 組 み

| | 目 標 | 平成 29 年 度 の 取 組 み |
|-----------|-------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 運営会議 | 設定した目標の管理 迅速な対応と意思の決定 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 苑・グループ・委員会・個人の目標管理 ・ 必要事項や提案事項に対する迅速な対応と意思決定及び情報共有 |
| 介護人材育成委員会 | 研修体制の確立 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 伝える側、受ける側、共に成長できるよう苑内研修の充実を図る ・ 職員の意識向上、組織づくりの一環としてキャリアパスを構築する |
| 褥瘡予防対策委員会 | 褥瘡予防と適切な処置 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 褥瘡予防（ポジショニングや体位交換など） ・ 個別性褥瘡対策モニタリングと継続記録 ・ 定期的な研修会の実施 |
| 排泄委員会 | 個別排泄ケア | <ul style="list-style-type: none"> ・ スキンケアと技術の向上促進 ・ 情報の視える化 ・ 排便時における記入基準の見直しと周知の徹底 |
| 入浴委員会 | 快適な入浴の提供 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 皮膚の観察とトラブルの早期発見 ・ 入浴介助の検討・改善 ・ 入浴環境の点検・整備 |
| 食事・口腔委員会 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 美味しく楽しい食事の提供 ・ 口腔ケアの知識や技術の向上 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 食事形態や食器用具、食事環境や食事姿勢の見直し ・ 口腔ケア研修の実施 |
| レク委員会 | 楽しいレク活動を通じて笑顔を引き出していく | <ul style="list-style-type: none"> ・ 四季にあった行事を支援します ・ 各フロアごとの定期的なレクリエーションを実施します |
| 衛生委員会 | 労働安全衛生の保持増進 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 労災防止活動の実施 ・ 5S(整理・整頓・清潔・清掃・躰)活動の推進 |
| 感染防止対策委員会 | 感染予防と蔓延予防 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 日々の健康管理と適切な予防措置 ・ 迅速な対応と健康管理連携強化 ・ 定期的な研修会の開催 |
| 拘束廃止委員会 | 人としての尊厳の保持と人権の尊重 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 人権擁護、虐待防止研修の実施 ・ 拘束廃止に向けた取り組みの徹底 |
| 介護力向上委員会 | 自立支援介護の取り組み | <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者の「4つの基本ケア」の見直し ・ 介護力講習会に参加と伝達研修の実施 |
| 事故防止委員会 | ケア提供時の事故削減 | <ul style="list-style-type: none"> ・ リスクの見える化による危険意識の啓発 ・ 事故事例検討会の実施 |
| リハビリ委員会 | 日常生活動作の自立 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 廃用症候群による心身の機能低下の防止 ・ 生活リハビリの計画・実施 ・ 理学・作業療法士による集団リハビリと個別指導 |
| 看取りケア委員会 | 看取り介護の体制構築と強化 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 「看取りに関する指針」の見直し ・ 多職種連携のための情報共有と日々の記録 ・ 研修会や家族等に対する報告会の開催 |
| 認知症ケア委員会 | 認知症ケアのベースアップを図る | <ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症ケア研修の実施 ・ 事例検討を通して気づきを共有し実践にいかしていく |

平成29年度 苑内研修 年間計画(案)

職

氏名

【研修の目的】

- 1・組織の一員として自覚を持ち、目標達成に向けて主体的に取り組む事ができる
- 2・専門職としての知識と・技術・社会性・倫理を備え利用者本位のサービスを提供できる

| | 研修名 | 研修のねらい | 受講日 | 確認印 |
|-----|-----------------|--------------------------------|-----|-----|
| 4月 | 新任研修 | オリエンテーション、新任研修 | | |
| | 人権擁護・虐待防止研修 | 人権擁護とは・虐待とはどのような事を指すのかを学ぶ | | |
| 5月 | プライバシー・個人情報保護研修 | 「プライバシーとは何か」「個人情報保護」について学ぶ | | |
| | 身体拘束廃止研修(1回目) | 身体拘束禁止の対象となる具体的な行為とやむを得ない場合の対応 | | |
| 6月 | 感染・食中毒研修(1回目) | 感染症の特徴、予防法、対応法について確認する | | |
| | コンプライアンス研修 | 関係法令の改正点について | | |
| 7月 | 看取りケア研修(1回目) | 看取りケア加算と指針について | | |
| | 認知症ケア研修 | 認知症介護の基礎「認知症の人の理解と対応の基本」I | | |
| 8月 | 事故発生時対応研修(1回目) | 事故発生時の対応確認とヒヤリハットの傾向と対策 | | |
| | 身体拘束廃止研修(2回目) | 身体拘束廃止に向けての基本ケアについて | | |
| 9月 | 褥瘡予防研修(1回目) | 褥瘡発生のメカニズムと発生時の対応について学ぶ | | |
| | 認知症ケア研修 | 認知症介護の基礎「実践上の留意点」II | | |
| 10月 | 感染・食中毒予防研修(2回目) | 感染症の特徴、予防法、対応法について再確認する | | |
| | 消防訓練 | 火災発生時の通報、消化、避難誘導の訓練 | | |
| 11月 | 事故発生時対応研修(2回目) | 事故発生時の対応確認とヒヤリハットの傾向と対策について | | |
| | 認知症ケア研修 | 認知症介護の基礎「実践上の留意点」II | | |
| | 救急法研修 | 心肺蘇生の実技訓練 | | |
| 12月 | 事例研究発表 | 各G,各F 1年間取り組んだ事に関する経過発表 | | |
| | | | | |
| 1月 | 認知症ケア研修 | 認知症介護の基礎「実践上の留意点」II | | |
| | | | | |
| 2月 | 看取りケア研修(2回目) | 精神的ケアについて | | |
| | | | | |
| 3月 | 褥瘡予防研修(2回目) | 褥瘡発生のメカニズムと発生時の対応について再確認する | | |
| | | | | |

ほのぼの苑人材育成委員会

平成29年度 行事計画

| | 施設サービス | デイサービス |
|-----|--------------------------------------------------|------------------------------------------|
| 4月 | 花見会 外食とショッピング 喫茶 出前 | 苑外散歩・花見会 出前 ドライブ 手作りおやつ |
| 5月 | つつじ見物とショッピング 鋳物師ふれあいサロン 喫茶 消防訓練 | ドライブ、つつじ見物 散歩 消防訓練 工作、手作りおやつ、出前 |
| 6月 | 菖蒲湯 ふるさと訪問 喫茶 出前 | 菖蒲湯 外食 習字、リズム体操 手作りおやつ |
| 7月 | 外食とショッピング 花はす観賞 喫茶 デザートバイキング | 七夕飾りとまつり ドライブ 手作りおやつ |
| 8月 | 流しそうめん、すいか割り 納涼祭 お盆供養 ふるさと訪問 喫茶 | 納涼祭 花はすドライブ 出前 カラオケ |
| 9月 | ミニ運動会 映画鑑賞 ふるさと訪問と外食 喫茶 バーベキュー大会 | ミニ運動会 コスモスドライブ おやつバイキング 出前 |
| 10月 | 菊人形見物 家族交流会 ふるさと訪問 喫茶 | 菊人形見物 家族交流会 手作りおやつ 工作・出前 |
| 11月 | 町文化祭参加 お好み焼きづくり 喫茶・出前 消防訓練 | 町文化祭参加 手作りお菓子 ドライブ 消防訓練 |
| 12月 | 餅つき大会 ゆず湯 クリスマス会 忘年会 喫茶・出前 | 餅つき大会 ゆず湯 クリスマス会 出前 手づくりおやつ |
| 1月 | 新年会(すき焼き会) 正月あそび、甘酒会 ぜんざい会 喫茶・出前 | 新年会(すき焼き会) 正月遊び おしるこ会 出前 |
| 2月 | 外食とショッピング 節分(豆まき) お好み焼きづくり 喫茶・ホットケーキづくり | 鬼の面づくり 誕生会 節分(豆まき) 手作りおやつ |
| 3月 | 喫茶・ひな祭り 映画鑑賞 外食とショッピング ふるさと訪問 | ひな祭り 甘酒づくり 和菓子バイキング ドライブ |